

2022年12月23日

「新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」

委員各位

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣
7・4 球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子 市花 保
子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会 代表 中島 康

熊本県宛て

「新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」 会議に関する抗議と申入れの提出について（報告）

時下益々ご清栄のことと存じます。

私たちは、球磨川流域に暮らし、豊かな川を未来の世代に受け継ぐために活動する市民、球磨川豪雨被災者、ならびに県民有志による任意組織です。

さて、この度別紙の通り、本「新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」に関し、県知事宛てに「抗議と申入れ」文書の提出書を提出しましたので、お知らせ申し上げます。

私たちは、県により設置されたこの組織は、上辺だけの住民参加組織であり、事業進捗確認のお墨付きを与えるものに過ぎないと考えています。

委員の皆様におかれましては、本会議が流水型ダムを前提とせず、事業進捗について単に「確認」しお墨付きを与えるだけの形骸的な住民参加組織ではなく、真に住民に開かれた将来の説明と参加、議論の機会作りへとつながるよう、ご配慮願いたく存じます。

同時に、国と県に対し、現在まで十分に実施されないまま放置されている球磨川豪雨災害の要因とメカニズムの丁寧な検証、流域の命を育んできた清流球磨川・川辺川を守り、流域住民の生命をも守るための、流水型ダムによらない水害対策を、実効性ある住民参加を行いながら極限まで探求するよう要望いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

問合せ先：手渡す会事務局長 木本雅己